日本慢性期医療協会 新型コロナウイルス感染症に関する緊急アンケート 集計結果まとめ

実 施:令和2年3月

対 象:日本慢性期医療協会 役員病院

回答: 64 病院(令和2年3月11日現在)

設問1:現在、新型コロナウイルス感染症疑い患者を含めて、発熱患者全般に対してどのような対応を とられていますか (回答数 n = 64)

			•
		件数	比率 (%)
a.	新型コロナウイルス疑い患者の受診も含めて、発熱患者全般 を積極的に受け入れている	5	7. 8
b.	新型コロナウイルス疑い患者は電話対応(紹介を含む)のみで、それ以外の発熱患者は受診も含めて積極的に受け入れている	9	14. 1
C.	新型コロナウイルス疑い患者はすべて帰国者・接触者相談センターへ紹介し、それ以外の発熱患者は受診も含めて積極的に受け入れている	35	54. 7
d.	発熱患者全般に、原則として電話対応のみとしている	7	10. 9
e.	その他	8	12. 5

【その他コメント】

- ・現在まだ問合せがありません。
- ・新型コロナウイルス感染症疑い患者は保健所へ対応お願いする。
- ・かかりつけの患者様に関しては通常受入を行う。疑いの患者様に関しては紹介を行う。
- ・当院がかかりつけ医の場合は受け入れる
- ・新型コロナウイルス疑い患者だけではなく、一般外来は行っていない。(リハビリテーション目的の患者のみ受入)
- ・当地方においては疑いも発生しておりません。
- ・発熱患者全般を受け入れている。

設問2. 発熱患者全般を外来で受け入れる場合、どのような対策を講じていますか

(回答数 n = 64)

		件数	比率 (%)
a.	独立した外来窓口、待合室、診察室等を設けている	7	10. 9
b.	一般受付窓口で対応した上で、以後は車の中または別区画し た待合室を設けている	36	56. 3
C.	特に区分けはせずに、外来受診対応している	5	7. 8
d.	外来受診に対応していない	7	10. 9
e.	その他	9	14. 1

【その他コメント】

- ・設問1の感染疑いに該当がなければ、独立した外来窓口等で対応している。
- ・発熱患者様に待機して頂く隔離室を設けている。
- ・入口は別にし、待合室は換気のできる個室にしている。
- ・現在は、区分けはしていないが、県内の発生状況により発熱患者は車の中、又は別区画での対応を行う予定。
- ・インフルエンザの患者と同様。
- ・時間を分けている(14:00-16:00対応)
- 積極的とは言えないが、通常通り診察している。
- ・玄関インターホンにて申出てもらい、別区画の部屋にて問診。必要があれば相談窓口を紹介
- ・窓口は設置していないが、電話で連絡を受け、専用の待合室と診察室を設けている。

設問3. 新型コロナウイルス感染症 (疑い患者も含む) の入院対応、または対応の予定について、 お伺いします (回答数 n = 64)

		件数	比率 (%)
a.	独立した病棟で、積極的に受け入れている	0	0.0
b.	棟を区分けてして、個室対応している	3	4. 7
C.	病棟を区分けせず、個室対応している	6	9. 4
d.	対応していない	52	81.3
e.	その他	3	4. 7

【その他コメント】

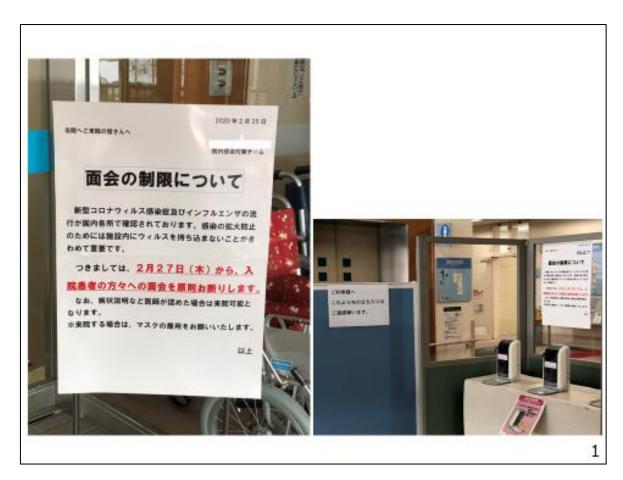
- 急性期一般病棟や地域包括ケア病棟の個室陰圧室で対応。
- ・現在は対応していないが、今後の発生状況、行政の動きなど総合的に判断・検討する。
- ・病室単位で対応する方針となっている

設問4. 発熱患者等について、この1週間(令和2年2月25日~3月3日)の外来患者数を記入して下さい

		回答 数	合計 人数	最大	最小	平均
a.	新型コロナウイルス感染症患者数	64	0	0	0	0
b.	新型コロナウイルス感染症疑い患者数	64	37	20	0	0.6
b-1	新型コロナウイルス感染疑い (PCR 陰性)	64	6	1	0	0. 1
b-2	新型コロナウイルス感染症疑い (PCR 検査せず)	64	31	19	0	0. 5
C.	その他の発熱患者数	63	545	82	0	8. 7

設問5. 発熱患者等について、この1週間(令和2年2月25日~3月3日)の入院した患者数を 記入して下さい

		回答 数	合計 人数	最大	最小	平均
a.	新型コロナウイルス感染症患者数	64	0	0	0	0
b.	新型コロナウイルス感染症疑い患者数	64	4	3	0	0. 1
C.	新型コロナウイルス感染症以外の発熱患者数	63	50	12	0	0.8









感染待機室











正面玄関にて 来院者の検温実施

看護師によるトリアージ

正面玄関自動ドアより 受付前揭示物







朝の職員検温実施



隔離用診察室

7

来院者全員に検温実施



看護師によるトリアージ (発熱者、風邪症状のある方)



37.5℃以上の方の専用待合室



専用待合室内(2名分)と 診察ブース(奥のテント)



診察ブース内での検体採取(袖付きエブロン、 帽子、マスク、手袋、ゴーグル着用)



8